

指揮 山田 啓明

Hiroaki Yamada

管弦楽 徳島交響楽団

Tokushima Symphony Orchestra



1965年大分県別府市生まれ。1988年に東京藝術大学楽理科を卒業後渡欧し、ウィーン国立音楽演劇大学指揮科、オペラ伴奏科に学ぶ。1996年に同大学院指揮科を修了。在学中よりウィーンオペラシアターのアシスタントコンダクター、バーデン市立歌劇場のコレペティトアなどを務める。1995年のプザンソン指揮者コンクールで2位、1996年の国際オペレッタ指揮者コンクール3位等に入賞。1998年に帰国後は、国立大学法人鳴門教育大学で教鞭を執る一方、徳島交響楽団など、国内のアマチュアオーケストラ、オペラ団体の指揮を中心に活動している。また2014年以来、鳴門アカデミー合唱団を率いてバッハを中心にバロック、ルネサンス期の合唱曲を積極的に取り上げている一方、夫人であるアルト歌手の小川明子の伴奏者として『ふるさと唱歌・童謡名曲選』など9枚のCDをリリースするとともに、演奏を多数YouTubeで公開している。

ピアノを加藤公康、辛島輝治、T.クロイツベルガーの諸氏に、声楽を小松英典氏に、音楽理論を野崎哲、角倉一朗の諸氏に、指揮を安永武一郎、高階正光、U.ライオヴィッツ、P.シュヴァルツ氏らに、またオペラ伴奏法をH.ゲルツ、K.ライトナーの諸氏に師事。

現在、国立大学法人鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授。

1971年、徳島市民管弦楽団として発足。1982年、徳島交響楽団と改称した。毎年、定期演奏会、ニューイヤーコンサートを開催し、鳴門「第九」交響曲演奏会、徳島県音楽協会コンサートなどに出演している。また、オペラや公開リハーサルなど多彩な演奏会により、幅広く徳島県の音楽文化の発展に寄与している。2007年と2012年に徳島で開催された国民文化祭では開会式、第九フェスティバル、オーケストラの祭典、閉会式等に出演した。2008年には徳島交響楽団ジュニアオーケストラを設立し、青少年の育成に努めている。2010年4月よりチャリティー・スプリングコンサートを定期開催し、社会貢献事業にも取り組んでいる。

1983年徳島新聞文化賞、1988年徳島県知事賞、1991年地域文化功労者表彰(文部大臣表彰)、2013年徳島県文化賞を受賞。

ソプラノ 真鍋 美恵

Mie Manabe



昭和音楽大学音楽学部声楽科卒業。鳴門教育大学大学院修了。2001年にオーディションにて選出され、メトロポリタン歌劇場のコーチ陣による信州松原湖高原オペラマスタークラスに参加。Joan Dornemann、Robert Coward、John Norrisに学ぶ。同年よりローマに留学し、Marcella Govoniのもとでオペラ表現法を学ぶ。在欧中はローマを拠点にイタリア各地、ウィーン、プラハ、エアフルトでコンサートに出演。帰国後はJOF藤原歌劇団に15年間に在籍した後、2021年よりフリーランスとして活動。国内各地で演奏活動を行っている傍ら、声楽、合唱の指導に従事している。現在は徳島市在住。

鳴門教育大学嘱託講師。四国大学非常勤講師。認定NPO法人鳴門「第九」を歌う会理事。オペラ・ユニット「ブランドィーヴァ」メンバー。「Das Trio(鳴響Harmonie)」メンバー。

テノール 頃安 利秀

Toshihide Koroyasu



1953年兵庫県生まれ。関西学院大学文学部美学科を卒業後、東京藝術大学音楽学部声楽科を経て、1982年よりデトモルト音楽大学(ドイツ)に留学。留学中よりヨーロッパ各地でコンサート活動を開始。さらにチューリッヒ歌劇場合唱団、バイエルン放送合唱団に所属し、オペラやコンサートに数多く出演。また独唱者としてドイツやスイス、イタリア等でバッハの声楽曲を中心に数多くの演奏会に出演し好評を博す。9年間の在欧生活の後、1991年(平成3年)に帰国し、鳴門教育大学助教授に着任。以後、日本各地で独唱者としてオペラやオラトリオに出演し、「第九」のソリストとしても数多くの演奏会に出演する。H.クレッチマー、E.ヘブリガーの各氏に師事。

鳴門教育大学名誉教授。また認定NPO法人鳴門「第九」を歌う会副理事長・合唱指導者。第27回徳島県芸術祭最優秀賞を受賞。

アルト 小川 明子

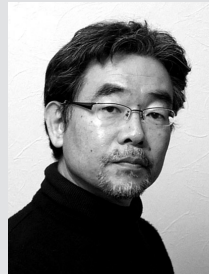
Akiko Ogawa



東京藝術大学大学院修了。第61回日本音楽コンクール第2位。第4回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位。1997年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてウィーンに留学。モーツァルト『魔笛』、ワーグナー『さまよえるオランダ人』、水野修孝『天守物語』、原嘉寿子『祝い歌の流れる夜に』などのオペラに出演。コンサートではヘンデル『メサイア』、バッハ『マタイ受難曲』等の宗教曲、マーラーの交響曲などで多くのオーケストラや合唱団と共演している。近年は日本歌曲に力をそそぎ「日本歌曲選」「啄木とみずゝを歌う」「からたちの花 山田耕筰歌曲集」「荒城の月 国楽を離陸させた偉人たち」「さくら横ちょう 中田喜直4つの歌曲集」「早春賦 日本歌曲選2」「落葉松 アルトとギターで紡ぐ日本の歌」「お菓子と娘 橋本國彦歌曲集」「海ゆかば 信時潔歌曲集」「ふるさと 唱歌・童謡名曲選」のCDをリリース。YouTubeでも活躍。鳴門の第九では2000年より11回にわたりソリストを務めた。

バス 今泉 仁志

Hitoshi Imaizumi



1959年徳島出身の両親の元、兵庫県に生まれる。大阪音楽大学卒業。同大学院修了。在学中より日本テレマン協会のメンバーとしての演奏活動を開始。その間に内外のバロックのエキスパートである多くの指揮者・歌手との共演を通して活動の礎を築き、その後も多くのバロック演奏団体に於いてソリスト、アンサンブル歌手としての経験を重ねる。バロック期の作品を中心にルネサンス、民族音楽の歌唱からクラシック期までを得意分野としている。指揮者としてはバッハのカンタータや受難曲、南米のバロック音楽、ルネサンスのポリフォニー音楽の公演に出演。三好長慶に始まる戦国時代の日本の南蛮音楽の受容と明治初期の西洋音楽の受容から見える日本文化の特質は近年の企画・活動のテーマとなっている。今年再び開催予定のバッハのバスのための宗教ソロカンタータ全曲によるリサイタルを関西で初めて開催するなど、古楽器との共演に積極的に取り組んでいる。

古代から現代まで鑑賞ルート約4km  
西洋名画1,000余点を陶板で原寸大に再現

世界の名画に出合える美術館

大塚国際美術館  
OTSUKA MUSEUM OF ART



システィーナ・ホール

- 徳島県鳴門市鳴門町(鳴門公園内) ■ TEL: 088-687-3737
- 開館時間: 9時30分~17時(入館券の販売は16時まで)
- 休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日) その他特別休館あり 8月無休
- 入館料: 一般 3,300円 / 大学生 2,200円 / 小中高生 550円

※20名以上の団体は10%割引 ※障がい者手帳をお持ちの方は半額  
※おトクでスマート入館! 公式オンラインチケット(前売り券)がおすす